

公表日

令和 8 年 3 月 20 日

事業所名

こぼんはうすさくら 彦根教室

保護者等数(児童数) 7名

回収数 5件(割合71%)

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4件	1件	0件	0件	回答が5件のため、ご意見が得られませんでした。	工夫をして行っております。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	3件	0件	2件	0件		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4件	0件	1件	0件		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	3件	1件	1件	0件		いつも心がけ、玩具一つ一つの消毒も毎日しています。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3件	0件	2件	0件		相談員さんからの計画と施設内での様子を見て、職員会議を実地しています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	3件	2件	0件	0件		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4件	0件	1件	0件		個々の計画を職員で確認を理解し、日々支援に取り組んでいます。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3件	2件	0件	0件		相談員さんからの計画と施設内での様子を見て、職員会議を実地しています。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3件	1件	1件	0件		個々の計画を職員で確認を理解し、日々支援に取り組んでいます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	3件	2件	0件	0件	工夫されていると思う。	プログラムが固定化しないよう、季節の行事を取り入れてたり、過去のプログラムも参照しています。
11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2件	0件	2件	1件		お出かけや公園あそび時の目的の一つとしているが、保護者に伝わるようにプログラムを改善していきます。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4件	1件	0件	0件		継続して行っていきたいと思います。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4件	1件	0件	0件		継続して行っています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3件	2件	0件	0件		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	4件	0件	1件	0件	共通理解が出きている。	継続して行っています。
	16	定期的な、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3件	1件	1件	0件		面談の機会を設け、支援の質向上を図ります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3件	1件	1件	0件		継続して行っています。
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていると思いますか。	3件	1件	0件	1件		今後、保護者間の親睦・支援の連携を目的に、実地計画していきます。	
19	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4件	1件	0件	0件		今後も継続して行っています。	

保護者への説明等	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4件	1件	0件	0件		継続してより多くの情報提供をしていけるようにしていきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	4件	0件	1件	0件		InstagramやHPなどで発信をしています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4件	0件	1件	0件		慎重に取り扱っております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3件	0件	1件	1件		実施しているが、保護者にもっと伝えられるように連絡していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2件	1件	0件	2件		実施しているが、保護者にもっと伝えられるように連絡していきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2件	0件	1件	2件		実施しているが、保護者にもっと伝えられるように連絡していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1件	0件	2件	2件		事故が発生した際には記録の保管、速やかに周知を徹底します。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	3件	0件	2件	0件	幼稚園からも本人がこぼんの迎えと分かっているときは、帰りの用意が遅くなったりする事があると聞いています。	安心して通所していただけるように、環境づくりなどに努めます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	3件	1件	1件	0件	今日はこぼんさんね！と伝えると・・・イヤヤーと言葉が出てくる。	楽しく取り組めるプログラム内容の考案や環境づくりに努めます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	3件	1件	0件	1件		これからももっと保護者様、児童に寄り添い支援に努めていきます。

公表日

令和 8 年 3 月 20 日

事業所名

こぼんはうすくら 彦根教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		部屋数や広さも十分に適切だと感じるスペースがごちゃごちゃしている	資格者や職員体制を念頭においている
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		人員が不足し、手厚い支援が行えない	職員の質を向上し、無理のない人数で療育する
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		障害特性に沿って、一人一人に最適な環境ではない	本人が分かりやすいように顔写真を提示し、自分が何をするか、次、何をするかわかる様に工夫しています
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		様々な活動や余暇を過ごせる空間がある	毎日する、週でするなどの掃除の分担を職員でしています
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		軽運動や集中して取り組みたいなど、使用目的によって部屋分けがしてある	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。		○	支援会議や日々の業務報告等で、利用者の状態を把握できるよう努めている	職員単体で動くことが多いが、統一できる様定期的な職員会議や朝礼で時間を作っています
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○	評価表の振り返りはあまり行えていなかった	職員同士の確認を上司への報告をする
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○	面談など職員の意見を聞く機会がなく、今後行う予定だミーティングが少ない	面談など職員の意見を聞く機会がなく、今後行う予定です
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○			いろんな業種と連携を図り評価を受ける
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		以前は不十分だったが最近改善しつつある	職員会議を行い職員間研修、実際の演習を行っている最中です
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		会議で特性など鑑み作成をし、公表も行っている HPで公表している	会議で特性など鑑み作成をし、公表も行っている
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		以前は不十分だったため、改善しニーズの理解や支援に役立てている	隠れたところにもニーズがあることを念頭に、児童と関わり支援計画へ活かしている
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		一番は利用者主体ということを念頭に置き会議が行えている	一番は利用者主体ということを念頭に置き会議が行えている
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		共有は出来ているが、計画に沿った支援体制はまだ不十分だと感じる	共有は出来ているが、計画に沿った支援体制はまだ不十分だと感じる
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		ツールがない	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		行えているが地域支援の観点から今後強化できるといい	本人や相談員・保護者からの意見を参考にし、施設内の様子を観察・関わりを聞き取りし、取り組んでいます
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		会議で意見を出し合い決定している	児童に合わせて組み分けをする
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		過去のプロプログラムも参照し、固定化しないよう留意している	みんなが参加できる様にいくつかのレベル分けをしたり、活動へのお声掛けなどをしています
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		自閉症の利用者などは特に集団活動への参加が難しく、計画に沿った支援ができないことが多い	会議に参加できないスタッフに、事前に会議意見を渡している
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		○	分担表を用い役割を明確にしている	朝礼・昼礼をし、その日の担当や役割を決めている
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。		○	送迎後の報告や、休みのスタッフにはツールを用いて共有できるようにしている	参加できない職員にはメモで渡す

関係機関や保護者との連携	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		気になったことなど共有はできているが記録の保存は不十分 個々の記録はない	1日1日担当を決め、担当した者が責任をもって記録をして、次の日、報告できるようにしています	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的に行えている	職員の気付いた点をみんなで話し合うようにしている	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児発管やよく支援にあたる職員が参加している	職員に負担のかからないようにしている	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		○	医療機関との連携が不十分		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○	情報を共有する場があまりなく率先して会議など開催したい		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○	現状行っていない	密に連絡を取り、研修を受けていきたいと思っています	
	28	(28～30は、センターのみ回答)					
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答)					
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○	行っていない		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	行っていない		地域連携の観点から、交流が行える環境づくりを推進してまいります
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○			送迎時などにその日の様子や、施設以外での様子を聞くようにしている	具体的にどうしたか、その結果も伝え、成功例・失敗例を保護者と共有しています
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			保護者様の参加、共有は行っていない	説明だけではなく、理解されているかを確認をとる	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			契約の際、説明を徹底している	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			アセスや相談員との情報交換を行い、利用者・保護者のニーズに沿った支援を考案している	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○				必ず読み合わせを行っている
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			送迎時に話すことが多いため、しっかりと時間を確保できる機会を設けたい	定期的に計画を予定しています
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○				最近ではあるが、定期的に保護者参加型のプログラムを執り行い、交流できる機会を設けるようにしている
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○				定期的に聞いているが、個別支援計画書作成の時期だけになっている
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			行っている	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			HPなどに写真を掲載する際には、必ず特定されないよう留意している	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			ご家族様に合わせた会話など心掛けている	今後検討中
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		地域連携が出来ておらず、今後の課題である	社会資源を活用しつつ地域連携強化に努めます

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		周知が行えていない	ツールを用いてご家族様にも周知が出来るよう努めます
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		定期的に研修や訓練を実施している	振り返りを行い更に理解を深め、業務に行います
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		アセスや口頭での情報収集や、記録の保管を行っている	障害特性や持病等の研修を行い、安全に活動に取り組んでいただけるよう留意します
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アレルギーには周知を徹底しているが、指示書を参考にしていない	重度のアレルギーをお持ちの利用者様には、特に医師の指示書等参考にして、事故のないように努めます
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画の研修を行っている	全ての職員が安全計画に沿って支援に臨めるよう周知徹底いたします
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○	周知は出来ていない	ご家族様への周知が出来ていない為、HP等活用し周知に努めます
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		朝礼等で共有し、作成を行っている	ヒヤリハットを用い会議を通して事故や危険の回避を行います
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		以前は不十分だったが、現在は行えている	すべての従業員が虐待に対する意識を持ち、虐待の防止に努めます
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束を行った際は保護者への説明、及び事前に重説等にて同意を得ています	身体拘束廃止に向け協議を行い、環境設定等の配慮を行います	